

僕はあまりに甚いとは思つたけれど、観念して荷物をまとめたりした。

今夜だけでも泊めて呉れ、ば好いに、それも警察では許るさないのだそうだ。

弟の靈前に額づいた。

五十日祭が済んで埋葬するので其の儘だ。

僕は骨壘の蓋をあけてみた。

黒い焼け残りや、消炭のゴトク白いのがコナゴナになつてゐる。

アガンボジョー。

僕は涙を落しそうになつた。

すしを食つた。

船の待合所に出た。

姉は十日程前に歸つたのだ。

義母が僕を連れて行く事になつた。

芝が唐餛飩を土産に持つて來た。